

令和6年度 学力向上推進計画 1

学校種	小	学校名	砥部町 立 麻生 学校
学校番号	87	校長氏名	則友 美紀
期間	R6.4~R6.9	学力向上推進主任氏名	二宮 貴美子

Plan 計画

【現在の子供の姿】

- 学習に主体的に取り組む態度が身に付いていない。
- 学年に応じた基礎的・基本的な内容の定着や、家庭での学習習慣の定着に個人差がある。
- 自分の考えを明確にして表現したり、他者の意見を聞いて自分の考えを深めたり広げたりする力が弱い。

1	身に付けさせたい資質・能力		具体的な取組
	<ul style="list-style-type: none"> ア 主体的に学びに取り組む態度 イ 基礎的・基本的な知識及び技能 ウ 他者の意見を聞いて考えを深め、自分の考えをまとめて表現する能力 		<ul style="list-style-type: none"> ア 単元を通して計画的に振り返りを行い、学びの過程や変容を自覚できるようにする。 イ 自主学習メニューを活用し、家庭学習の質の向上と習慣化を図る。 イ eラーニングシステムやEILSのコンテンツバンクにあるeスタ等の学習シートを活用することで、基礎的・基本的な知識及び技能の向上を図る。 ウ 視点を明確にし、対話によって自分の考えを話し合う場「麻生っ子スマイルトーク」を全授業回数70%以上実施する。

Do 実践

全教職員による共通実践

Check 評価

【成果○と課題●】

- 算数科に関しては、単元を通して計画的に振り返りができた。自分の学びを振り返らせることで、何をどのように学び、何ができるようになったのかなど、自身の学びの過程や自分の変容を自覚させることにつながった。また、学ぶ子どもの視点から、子どもたちに必要な学びの在り方を考え、教師の授業改善や工夫につなげることができた。
- 「自主学習メニューの活用により家庭学習の質が向上した」と実感している教職員は全体の8割であった。ポイントを押さえた指導や、モチベーションを上げるための励ましのコメントや声掛け、自学コーナーへの掲示などで、子どもたちのやる気を引き出すことができた。
- 「麻生っ子スマイルトーク」を行うことで、自分の考えに自信を持たせたり、友達の考えを聞いて自分の考えを深めさせたりすることができた。
- どの教科においても振り返りの時間が確保できるように、計画的に振り返りの場を設定する必要がある。
- 中学年以上では、授業や家庭学習においてeラーニングシステムやEILSのドリル機能を十分に活用することができたが、低学年においては、まだ十分活用することができていない。
- 対話的活動を、どのような場面でどのように取り入れることが効果的な学びにつながるのか意識して実践する必要がある。

Action 改善案(課題をより明確にし、取組や評価方法の検証・改善)

4	★ 指導の目的や意図に応じて、振り返りのポイントや視点を意識し、計画的に振り返りの場を設定する。	→ 次サイクルへ
----------	--	----------